

挑戦者たち

仕事柄、経営者を間近で接する機会が多いのですが、昨今は時代の流れに翻弄され、苦悩されているのが良くなりません。

誠実で真摯な、覚悟の決断と実行。踏み出す時の決意に、トップの静かな透明さを垣間見る。

事業の不振を続ける会社の経営者は、話を聞いてい

(有)西川経営オフィスサービス

中村会計

事務所便り

2011年7月11日 (月) NO. 209

地域から明るい未来を作ろう

失われたホウと風呂敷

ない。先人達の教えを自分から聞こうとはしていない。従い当然、聞いていても分からない。

また情報の隠匿体質が多いのも事実です。これは社員を人財と認識していない証明です。

感じですがインプットができて、アウトプットができない。仕事に忙しく時間が無いせいでもあるが、全く先人達の本を読み込んでいない経営者が多すぎると思う。

この時代、九割強の情報公開されています。繋ぎ合わせれば残り数%だけが不明です。

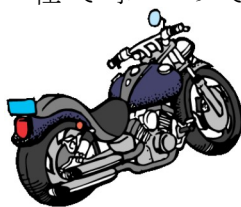
風呂敷も広げられずホウも吹けず、中年になっても座右の書すら持てない？経営者は、幹部の資格がないと言っても良いはずだ。

社員にとっては逆境、不幸そのものです。

楽な道を行く立派な「詐欺

師」達ですが、これは女性もある意味絶好のチャンスです。ちょっとした行動で輝きだすものです。

不景気、事業不振は全て経営者の責任なのです。



創造的失敗

目標を高く掲げ、未来に英知を求める。すなわち過去の実績から生まれた成功体験と実績が、現在を形作っている。しかし、未来を想像する中から、世界を視野に入れる企業が生まれるのです。

左記に書いてありますが未来から現在、過去へと時は流れる。

問題意識、いくつになつて

も夢を描き、抱かなかつたら生きている価値はない。人生とは面白く、楽しいものに転嫁する。ゴールにたどり着けるのが重要ではなく、ゴールを決め、目指す、それが重要なのだ。

失敗は付きもの、それは創造的失敗で成功の対価、人はその品性にふさわしい出来事に遭うものです。

結局は、人間性が成功も、失敗も支配するのです。

何事もベストを尽くすのみの一言だ。

直感力について

考えても仕方ないことは考えない、これが直感力の素、動物は悩まない、考えません。

直感力は、現場主義である。「セールスマンは足で考え、エンジニアは手で考えろ」と言います。机上で指示する幹部は、体を動かかし「修行」をすることを忘れて経営の刷新は出来ない。

インスピレーションは考えるネタがなくなるまで考えた後で突然です。コトバによる情報より、

五感が感じる情報、直感自身動的に突然、頭が空っぽの時、向こうから突然やってくる。

時間は、光速で「過去から未来へ流れる」のではなく、「未来から過去へ流れている」と見るのが正しいのです。

今起きたことは瞬時に彼方へ去り。記憶になるのです。

したが、人の本性は全て過去

にあります。

結果、彼らは何をしたのか。どんなことをしたのか、本性の全てです。祖先、爬虫類の先、太古の宇宙生成にまでさかのぼる。

すべて人の悩みは情報不足に由来するもの。

運を求めるなら運を求めない。得たいと思わない、求めている時にはやってこないもので熱中のみだ。

ちんけな「欲」を捨てることです。

